

**子育て世帯向けリノベーションした市営住宅に係る入居制度の導入に関する
市民の皆様の主な御意見と御意見に対する本市の考え方**

1 子育て世帯向けリノベーション住戸に応募できる世帯について 98件

市民の皆様の御意見要旨	意見数	本市の考え方
中学生までの子どもがいる世帯が適当	52	
小学生までの子どもがいる世帯が適当	18	
高校生までの子どもがいる世帯が適当	3	
応募対象の中で優先順位を設けるべき	7	
応募対象に妊娠中の場合を含めるべき	6	
応募対象に新婚やこれから出産を考えている世帯を含めるべき	2	
[その他] 応募対象の収入の上限を上げるべき	10 など	子育て世帯向けリノベーション住戸に応募できる世帯は、中学校修了までの子どもがいる世帯とする本市の案に賛同する御意見を最も多く頂きました。 今後、頂いた御意見を踏まえて制度の詳細を検討してまいります。

2 子育て世帯向けリノベーション住戸に居住できる期限の設定について □

(1) 入居期限に関する御意見 91件□

市民の皆様の御意見要旨	意見数	本市の考え方
末子が高校生(18歳になった年度末)までが適当	38	
末子が大学生(22歳になった年度末)までが適当	7	
末子が成年(20歳)までが適当	3	
末子が中学生(15歳になった年度末)までが適当	4	
末子が小学生(12歳になった年度末)までが適当	2	
末子の高校卒業を期限とするのではなく、一定期間の猶予が必要	4	期限を設けなくてよいとの御意見もありましたが、全体としては入居の期限を設けることについて、賛同する御意見を多数頂きました。 また、入居の期限については、末子が高校生(18歳になった年度末)までを期限とする本市の案に賛同する御意見を最も多く頂きました。
末子の中学校修了後1年(16歳になった年度末)までが適当	1	
何かしらの期限は設けるべき	8	
個別事情により設定	3	
期限は設けなくて良い	13	今後、頂いた御意見を踏まえて制度の詳細を検討してまいります。
[その他] 期限後は、通常より高い家賃を払うことにより入居を継続できることとしてはどうか	8 など	

(2) 期限後の退去・住替えに関する御意見 43件

市民の皆様の御意見要旨	意見数	本市の考え方
期間満了後、他の市営住宅への住替えを認めるることは必要な措置であるため、円滑な住替えが可能となるよう、しっかりした制度構築をしてほしい	19	入居期間満了後も、希望する世帯が引き続き市営住宅に居住できるよう、居住期限前から一般の市営住宅に住替えができる仕組みを設ける本市の案について、賛同する御意見や円滑な住替えを求める御意見を多数頂きました。
入居期間についての丁寧な説明や計画的な退去支援を行うことで、期間満了後は、確実に住戸を明け渡してもらうようにすべき	7	子育て向けリノベーション住戸の入居者のうち希望する世帯が、入居期間満了後も引き続き市営住宅に住み続けられるよう、一般の市営住宅への住替えができる仕組みを設けるとともに、入居者に個別に丁寧な説明を行うなど、入居期間満了後の住替えや退去が円滑に行われるよう検討してまいります。
地域における交流関係や生活を考えると、同じ団地内にある近くの市営住宅への住替えを認めるべき	6	
期限の5年前から住替えを認めるべきである	2	
住替え先については世帯の希望に合わせるべき	2	
[その他] ニーズに合った住替え用の市営住宅が必要であるなど	7	

3 その他の御意見について

(1) リノベーションの取組に関する御意見 41件

市民の皆様の御意見要旨	意見数	本市の考え方
[取組に期待、賛同する御意見] <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを安心して育てるため、有用な施策であると思う ・子育て世帯向け住宅というアイデアは良い ・気持ちよく子育てできる環境を整えるのは良いこと ・今回だけではなく、継続して取り組んでほしいなど 	15	
[団地、地域の活性化に関する御意見] <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅では新婚夫婦や30代の若者の入居が少なく高齢化が進んでいる。若者を取り込むためにもぜひ進めてほしい ・ニュータウンが元気になってほしい ・地域活動に興味を持ち参加してもらえる人に来てもらいたい ・地域活動への取組なども入居要件としてほしいなど 	8	京都市住宅マスタープランの中間見直しにおいて掲げられている、次世代の居住促進・子育て支援、ニュータウン団地の再生の推進に資するものであることから、本市の財政状況を勘案しつつ、継続して、子育て世帯向けのリノベーションを実施したいと考えています。
[リノベーション住戸に否定的又は慎重な検討を求める御意見] <ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションしなくとも現状の方法のままで良いのではないか ・民間の空家が増えていくのに子育て世帯向けのリノベーションを行う意図は何なのか ・税金のムダ遣いは絶対にやめてほしい ・なぜ市営住宅で子育て世帯を受け入れていこうと考えたのか意図がわからないなど 	7	
[リノベーション住戸に関連する取組の御提案等] <ul style="list-style-type: none"> ・団地内にコンビニがあると便利 ・リノベーションする部屋は住棟内で固めるほうが良いなど 	11	

(2) 間取り・設備に関する御意見 86件

市民の皆様の御意見要旨	意見数	本市の考え方
[広々とした間取りに関する御意見] <ul style="list-style-type: none"> ・家族だんらんができるように、広いリビングがあつたほうが良い ・リビングは、家族が自然と集まる場所となるよう、できるだけ広く取り、開放感がある方が良いと思う ・オープンキッチンが良いのではないかなど 	15	頂きました御意見を参考とし、限られた予算の範囲でできる限り子育て世帯に適した間取りを供給できるよう、検討してまいります。
[子ども部屋の必要性に関する御意見] <ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生のために、小さくてもいいから一人部屋を作ってあげたいなど 	5	

[和室に関する御意見] 畳の上で子供たちが遊び、学べる空間を残していただきたい など	4	頂きました御意見を参考とし、子どもが和の文化に触れることができるよう、間取り等を検討してまいります。
[台所、浴室等の水回りの設備に関する御意見] ・お風呂や台所を新しくしなければ、子育て世帯に入つてもらえないのではないか ・シャワーの設置は不可欠かと思う ・浴槽の高さは低いと良い など	11	
[収納・防音・フローリング等に関する御意見] ・押入れの1つがクローゼットならいいと思う ・階下への足音などが問題になりやすいので、床はクッション性の高いものが良い ・掃除のしやすさとアレルギーのことを考えるとフローリングの方が良いかと思う など	18	子育てに適した設備の設置、収納スペースの工夫、防音対策など、子育て世帯が生活しやすいよう、仕様等を検討してまいります。
[その他の御意見] ・子どもの成長に合わせて仕切りで間取りを変えられるようにしてみてはどうか ・部屋の間取りや設備だけではなく、団地内の環境も大切 など	33	頂きました御意見を参考とし、限られた予算の範囲でできる限り子育て世帯のニーズにお応えできるよう、工夫してまいります。

(3) 入居・家賃等の制度に関する御意見 13件

市民の皆様の御意見要旨	意見数	本市の考え方
[家賃の減額等に関する御意見] ・子育てにお金がかかるので、子供の数に応じた家賃の減額をしてほしい ・働きざかりの層の人たちが入りやすくするため、賃料を民間より安くし、保証代(敷金)を取らない等工夫が必要だと思う など	5	
[自立支援、生活支援に関する御意見] ・応募の際に入居したら収入の増に努める等の条件を付することはできないか ・必要であれば福祉部局と連携して、生活支援を受けてもらうことはできないか など	3	京都市住宅マスターplanの中間見直しにおいて掲げられた、次世代の居住促進・子育て支援の実現に向けて、適切な制度設計に努めてまいります。 また、頂きました御意見や御提案は、今後の市営住宅施策を検討、実施していく際の参考とさせていただきます。
[その他の御意見] ・子育て世帯が入居したいと思えるエリアが選定されるべき ・中学校や高校生がいる世帯の一般住戸への入居の要件を緩和する等の措置を考えるべき など	5	

(4) 市営住宅施策全般に関する御意見 10件

市民の皆様の御意見要旨	意見数	本市の考え方
[市営住宅の改修に関する御意見] この取組以外でも、市営住宅を改修した方が良いと思う など	2	頂きました御意見や御提案は、今後の市営住宅施策を検討、実施していく際の参考とさせていただきます。
[市営住宅の建替えや新築に関する御意見] 金がなければ建て替えはやめるべき など	2	
[その他の御意見] ・小学校区に1つは市営住宅がほしい ・新築でも子育て世帯向けの住戸を供給してほしい など	6	

(5) その他の御意見 4件

市民の皆様の御意見要旨	意見数	本市の考え方
[御意見収集方法について] ・子育て中のお母さん、お父さんの意見も参考にしてもらいたい ・モデル的に数戸入居した後、意見を聴取してはどうか など	3	子育て世帯の方はもちろん、幅広い市民の皆様から頂いた御意見を参考にさせていただきたいと思います。
インターネットをしておらずホームページを見ることができないので、方法を考えてほしい	1	インターネット以外にも、市民しんぶんや各種広報を通じて情報を発信しており、インターネットを使用されない方にも、これからも幅広く周知を図ってまいります。